

隣保館だより

4月号 No.501

つなごう手と手
築こう心の架橋を



【発行・編集】

令和5年4月1日発行

三木市立総合隣保館 〒673-0501 三木市志染町吉田 823

お問い合わせ

TEL

82-8388

FAX

82-8658

E-mail

jinken@city.miki.lg.jp

「子ども食堂」って？

…地域の人との関わりの中で、
子どもたちにとって **安心して過ごせる居場所に**…

次ページは
おいでよ、
子育てキャラバンへ！

～みんなで子育て～
です

市内の「子ども食堂」の紹介

- ①三木地域 …NPOみんなの城
場所：中央公民館
日時：第1・2・3土曜日午後4時から
- ②別所地域 …べっしょなかよし食堂
場所：別所町公民館
日時：第1・3金曜日午後4時から
- ③自由が丘地域 …わくわく子ども食堂
場所：自由が丘中公園
わくわくステーション北館「わくわく食堂」
日時：毎週木曜日午後4時30分から
- ④緑が丘地域 …おおきなきこども食堂
場所：地域交流施設 みんなのひろば おおきなき
(緑が丘町中2丁目1-1)
日時：第1・3金曜日午後3時30分から
- ⑤吉川地域 …おだんごぱんキッチン
場所：みなぎ台第5集会所(みなぎ台2丁目25-5)
日時：第3日曜日午前11時30分から

子育てキャラバン開催の紹介

子育てキャラバンは何歳からでも参加できる「みんなであそぼう」、月齢や年齢に合わせた「あかちゃんあつまれ」「1歳あつまれ」のほかに年間通して参加できる「クラス制」があります。



児童センター
ホームページ



吉川児童館
ホームページ

詳しくはホームページやハンドブックをどうぞ



市内の取組の一部ですが紹介します

中央公民館の「NPO みんなの城」では、子どもは宝物との思いから、子どもの居場所とつながりを求め、宿題をする・お話を聞く・料理体験をするなど楽しい場所を提供しつつ、配膳やマナーを学びな



がら食事をしてい
ます。



青山公民館では、「月一cafe」を開催。青山まちづくり協議会の子育て部会の活動として、担当者7人で月に一度、学校の長期休みには「こどもcafe」も開催。子育て中のお母さんたちや小さなお子さんから高齢の方まで誰でも参加でき、予約なしの出入り自由で、コミュニケーションの場として、まちを挙げて取り組んでいます。



人権の小窓

「おいでよ、
子育てキャラバンへ！」

★ みんなで子育て ★

☆ 子どものころを忘れていませんか？

子どもには、親としての理想を追い求めたくなるものですが、思い通りにならず「なんで？」と悩むことも多いですね。例えば、「うちの子、よく転ぶな～」とか「よく物にぶつかるな～」と
思ったことはありませんか？

幼児期の子どもは、上下左右ともに大人の約6割しか見えておらず、転びやすい、物にぶつかる、飛び出すなど、視野の狭さがその理由の一つとして考えられています。

このように、身体の発達過程において、目線の低さや視野の狭さによって、空間を把握する力が弱いために、一つのものに注意が向くと周りが目に入らず、大人にとっては当たり前のことが、子どもにはできないことも多くなります。

子どもの頃に膝小僧を擦りむいたあなたも、大人になってからは擦り傷など、滅多に作らなくなったのではないのでしょうか。子どもに対して「なんで？」と思うと同時に、まずは自身の幼少期を思い出してみてください。きっとヒントが隠れているはずだと思います。



☆ 子育ては本能ですもの？

南極大陸に生息するコウテイペンギン。産卵後のメスは疲れた体に栄養を与えるため、長い時間をかけてエサをとりに行き

三木市健康福祉部 子育て支援課
課長兼市立児童センター所長兼吉川児童館長

なかにし すずむ
中西 進

公共交通担当、生活保護ケースワーカー、アフタースクール担当などを経て令和2年4月から現職。

ます。そして、卵を温めるのはオスの仕事で、オスは約60日間温めるそうです。しかも、ほとんど絶食状態で。

60日程たってヒナが孵る頃、栄養を蓄えたメスが海から戻って来て胃に貯めた食べ物をヒナに与えます。ここでやっと交代です。無事にヒナを孵したオスは食事のために、海を目指します。この時、オスの体重は40%近くも減ってしまうようです。私たち人間に置き換えると、とうてい無理で、凄まじい子育てなのですが、これは動物の本能として実行されています。



しかし、私たち人間は本能で子育てができるようにはなっていません。親から子へ、子から孫へ、はたまた、友人、知人などから、受け継がれていく、子育てのノウハウがあると思います。言い換えれば、誰の協力もなく、アドバイスもなく、孤独に子育てをすることは人間には無理なのです。

孤独は、間違った子育てや、虐待につながることも考えられるのです。

☆おいでよ、子育てキャラバンへ！

三木市立児童センター・吉川児童館が主催する「子育てキャラバン」をご存じですか？

子育てキャラバンは、進行する少子化や核家族化、地域社会の変化など、子どもや子育てをめぐる環境が大きく変化している中で、子育て中の親の孤独や不安を緩和

し、子どもの健やかな育ちを支援することを目的として開催しています。

また、子どもの自発的な活動を尊重して、子どもが「自ら」遊びを「選ぶ」「作り出す」ことができる環境の提供を心がけるとともに、ふれあい遊びを通したスキンシップで、親子との絆を深める狙いもあります。

参加された保護者の方からは、

「県外から引っ越してきたが、友だちができて、親子共に子育てについて話ができる」「一人で来ても、同じような年齢の子ども、親子と一緒に話ができる」

といった感想をいただいています。

子育てキャラバンの特徴として、保健師・栄養士・作業療法士・臨床心理士、歯科衛生士などの専門職が参加し、健康、発達、食事、からだ、動作などについて、発達段階に応じた必要なアドバイスを受けることや、相談をすることができます。

もう一つ、大きな特徴として、参加される方が選ぶことができる、①乳幼児期の月齢や年齢に合わせたプログラム、②決めごとにしばられない自由遊び、手作りおもちゃ遊び、身体を動かす遊び、③クラス制キャラバンなどを提供しており、近隣の市町では類を見ない取組となっています。

多様な子育てキャラバンに参加することで「孤独や不安」に陥ることなく子育てをすることができます。



☆ 子どもの人権って？

子どもの人権と聞いて、みなさんはどんなことを思い浮かべますか？

分かりやすいのは、「児童の権利に関する条約(子どもの権利条約)」で、子どもの基本的人権を国際的に保障するために定められた条約です。

子どもの権利条約には、4つの権利が定められています。

1 生きる権利

住む場所や食べ物があり、医療を受けられるなど、命が守られること

2 育つ権利

勉強したり遊んだりして、もって生まれた能力を十分に伸ばしながら成長できること

3 守られる権利

紛争に巻き込まれず、難民になったら保護され、暴力や搾取、有害な労働などから守られること

4 参加する権利

自由に意見を表したり、団体を作ったりできること

(ユニセフホームページから引用)

もっと簡単に表現すると、「**幸せに生きる**」という一言に尽きると思います。

少子化、地域社会とのつながりの希薄化など、複数の要因が重なり、大人が子どもと接する機会が減り、子どもの声がうるさいという大人もいる中で、子育てはしにくくなっていますよね。

また、近年はインターネットやSNSの発展によって便利である反面、間違った内容も含んだ無秩序な情報もあり、かつ情報過多の中での子育ては、思いのほか難しいと感じる時も多いのではないのでしょうか。

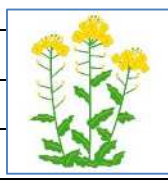
そんな中であって、児童センター・吉川児童館は「ふれあい」を大切に、**子育てをする保護者と子どもたちの応援団**でありたいと思います。

ペンギンのように「本能」ではなく、人と人とのつながりの中で「なんで？」を解決し、子どもたちが「自ら」遊びを「選ぶ」「作り出す」ことを覚え、幸せに、たくましく成長してくれますように。

ぜひ、「子育てキャラバン」にお越しください！お待ちしております！



日	曜	催し・講座など	日	曜	催し・講座など
1	土	書を楽しむきらきら教室 13:00~	16	日	
2	日		17	月	
3	月		18	火	経営相談 10:00~
4	火	経営相談 10:00~	19	水	
5	水		20	木	
6	木		21	金	経営相談 10:00~
7	金	経営相談 10:00~	22	土	
8	土		23	日	
9	日		24	月	
10	月		25	火	経営相談 10:00~
11	火	経営相談 10:00~	26	水	
12	水		27	木	手芸教室 13:30~
13	木	手芸教室 13:30~	28	金	
14	金	経営相談 10:00~	29	土	昭和の日
15	土	茶道教室 9:00~	30	日	



人権啓発DVDの紹介
活用ください (隣保館で貸出できます)

兵庫県・(公財)兵庫県人権啓発協会企画
◎「バースデイ」(37分)
テーマは「性の多様性を認め合う～誰もが自分らしく生きられる社会をめざして～」です。
性的少数者については、依然として社会理解が進まず、差別や偏見、配慮に欠けた対応などで、自身の思いや悩みを打ち明けることが難しく、周囲の無理解に苦悩し、生きづらさを感じている状況など様々な問題があり、深刻な人権問題になっています。
一方、性的少数者であることを打ち明けられた家族や友人等は、既成概念による偏見や知識不足によって、理解しようと向き合う前に混乱や抵抗感にとらわれてしまうことが多くあります。
性の在り方は多様で一人ひとりの人権に関わることであるため、性的少数者の存在や悩みに気づくことが大切です。この作品を性的少数者について理解するきっかけとし、その多様性を認め、互いの人権を尊重することは、すべての人が自分らしく生きていける社会につながっていきます。そのような社会の実現をめざすことを目的として制作されています。



- 【人権に関する記念日等】(4月)**
- 2日 世界自閉症啓発デー・・・2007年の国連総会で決議。「ライト・イット・アップ・ブルー」をとおして啓発活動を展開。
 - 22日 アースデー・・・1970年、アメリカの上院議員が4月22日を「地球の日」と宣言。
 - 28日 国際盲導犬の日・・・1989年に国際盲導犬学校連盟が制定。4月の最終水曜日。
- 2～8日 発達障害啓発週間・・・自閉症をはじめとする発達障害について正しく理解してもらうために設けた。



人権作文集と三同教研究大会研究収録です
※各公民館等でご覧ください。

※他に、「性の多様性とLGBTQ+」や「きこえない人の生活・気持ち」「水平社を立ち上げた人々」「芸能と差別」「差別のない社会へ」など人権学習に活用できるDVDが多数あります。どうぞご利用ください。

講座生募集中 どうぞご参加ください
★書を楽しむきらきら教室
★手芸教室 ★茶道教室